

協力団体よりメッセージ

長野市長
荻原健司 様

「子ども虐待防止ながのオレンジリボン」の活動は、全国的に児童虐待が増加し、社会全体で子どもの命を守る取組が求められている中、広く市民の皆様に児童虐待防止をPRするための大変重要な機会となっています。

虐待により幼い子どもが死亡する事件などの報道を聞くたびに、大変胸が締め付けられる思いがいたします。このような痛ましい事件が繰り返されないよう、子どもを虐待から守るとともに、子どもの心身の発達や人格形成が健全に行われる養育環境を整えることが大変重要だと考えております。

長野市におきましては、令和4年4月、子どもに関する相談をワンストップで受け付ける「こども総合支援センター」を開設し、子どもと家庭に関する相談や、児童虐待の早期発見、サポートを必要とする家庭への継続的な支援など、更なる相談・支援体制の充実と児童虐待の防止に努めております。また、長野県など関係機関や関係団体と連携して、児童虐待防止に全力を挙げておりますが、行政の力だけではなく社会全体で一丸となった取組が必要であります。このため、様々な団体の皆様が参画した活動が、今後ますます広がっていくことを願っております。



協力団体よりメッセージ

チャイルドラインうえだ事務局次長
茅野浩恵 様

チャイルドラインうえだは、18歳未満の子どもたちの声を電話で受ける活動をしている団体です。子どもたちの幸せを願う団体として、また、直接子どもたちに「児童虐待対応ダイヤル189」の存在を伝えられる団体としてオレンジリボン活動に参加しております。

本年度は、ながのオレンジリボン上田支部・うえだみなみ乳児院さんと共同で上田市庁舎ロビーにて順番にパネル展を10/11から11/11まで一か月に渡り開催しました。

また、11/3砥石米山城まつり・11/6の上田真田まつり会場にて啓発活動を行いました。

これに先立ち、10/12代表者が上田市長表敬訪問を、10/17にはメディア向プレリリースを行い地域の皆さんへの広報に協力していただきました。

11/3・11/6の地元の大きな祭り会場では、オレンジ色のジャンパーを着て登り旗を立てカラフルな風船を片手に折込チラシ入りティッシュ配りを行いました。当日は、関係者のみならず、佐久児童相談所の職員の方々、地元大学生の皆さんがお手伝いに来てくださいました。また、この活動に賛同くださいました地元企業から多くの協賛を頂いたとのことです。感謝いたします。

これからもこうした活動を通して、子ども虐待防止への意識や取り組みが広がっていくよう協力して啓発活動を継続していきたいと思っております。

